

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2019.4.5 No.347 東京・羽村平和委員会発行



CVオスプレイ 横田に初飛来から1年 米軍の横暴を告発

横田基地のCVオスプレイが、機関銃を下に向けたまま飛行していた事が分かりました。4月5日飛来後、2度、海外の演習に参加し、戻って来た後の6月29日から、すでに銃を下に向けた飛行を行っており、常態化していたのです。このようなことが許されるのでしょうか。



パラシュート降下も無届け、オスプレイ離着陸情報も月報

パラシュート降下が3月28日に3人、29日に2人、4月1日に2人、4日に1人が行いましたが、無通告です。CVオスプレイの横田離着陸情報も、日報から月報になりました。米軍は住民にはなるべく知らせず、基地機能強化を進めています。

CVオスプレイ 銃むき出し常態化 赤旗記事をごらん下さい

ぶん 赤 旗 2019.4.5 ※3月13日も追加です。(3月15日付に既報) (第3種郵便物認可)

横田基地 オスプレイ初飛来1年

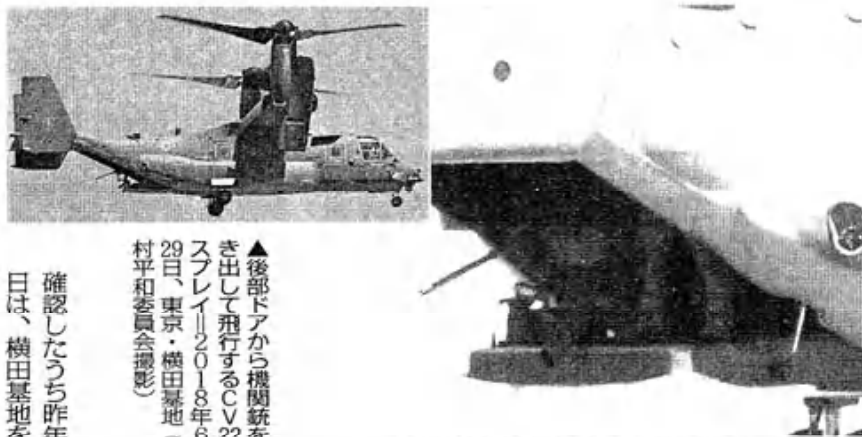
銃むき出し常態化

在日米軍横田基地(福生市など東京都多摩地域5市1町)配備の米空軍特殊作戦機CV22オスプレイが機関銃むき出しで市街地上空を飛行していた問題で、昨年6月以降、同様の飛行が常態化していたことが4日、平和団体の監視記録でわかりました。確認できただけでも計18回に及びます。CV22が横田基地に初飛来して5日で1年。「米軍とともに戦争をする国」づくりを進める安倍自公政権のもとで、全国に広がるオスプレイの危険な訓練を許すのか、統一地方選・参院選で問われています。

(佐藤つよし)

監視活動を続けている分ごろまで基地周辺での羽村市の羽村平和委員会 巡回飛行や離着陸訓練を撮影し「Yokota Journal」ブログに掲載 昨年7、8、11月、今してきた写真を検証したところ、すでに昨年6月29日午前11時50分ごろ離陸した2機のうち1機が後方のドアから12・7ミリ機関銃を突き出していました。この2機は同日午後1時ごろから2時40分 周辺自治体に提供した目

訓練拠点化が鮮明に



▲ドアを開けた状態のCV22の後部。機関銃と操作する兵士の足が確認できます＝2018年6月29日、東京・横田基地(羽村平和委員会撮影)

視情報によると、羽村平和委員会が機関銃装備を

▲後部ドアから機関銃を突き出して飛行するCV22オスプレイ＝2018年6月29日、東京・横田基地(羽村平和委員会撮影)

確認したうち昨年11月19日は、横田基地を離陸したCV22が、三沢基地(青森県)まで飛行して

CV22は、昨年4月5日の横田基地初飛来以降、韓国や東南アジア方面での訓練を実施した後、昨年6月23日から横田基地に常駐。正式配備(10月1日)前から、岩国基地(山口県)や三沢基地への飛行、東富士演習場(静岡県)での離着陸など、全国で訓練を繰り返して行きました。

選挙でノーを突き付けたい

「横田基地の撤去を求め西多摩の会」の高橋美枝子代表の話。CV22オスプレイがキャンブ富士(静岡県)など3カ所で空対地射撃訓練をするとは聞いていましたが、機関銃を下にむけ横田基地周辺で巡回飛行訓練をしていたとは驚きです。機関銃は何を標的に操作しているのでしょうか。私たち住民は敵ですか。許せません。住民の命や人権が脅かされているのに、日本政府はアメリカいいなりです。来る選挙では、米軍基地強化、オスプレイ配備に一貫して反対してきた日本共産党を躍進させ、安倍政権NOを突き付けたい。

2018年	6月29日	1機
	7月5日	1機
	11日	1機
	12日	1機
	19日	1機
	30日	1機
	8月14日	1機
	24日	1機
	28日	1機
	11月1日	1機
	7日	2機
	15日	1機
	19日	1機
	27日	1機
2019年	1月4日	1機
	3月11日	1機
	16日	1機

横田基地でCV22が機関銃むき出しで飛行した日(↑機1回で計算、合計18回)